

CASBEE-建築(新築)2016年版
京都スタジアム

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.6
Q1 室内環境					0.40				3.3
1 音環境				3.4	0.15				3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40				
1 開口部遮音性能				3.0	0.99	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.01	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		壁、床、天井に吸音材を使用		5.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				3.0	0.35				3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50				
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.37				
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.0	0.25				3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.32				
1 昼光率				-	-	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	-		
3.2 グレア対策									
1 昼光制御				3.0	-	3.0	-		
3.3 照度				3.0	0.19	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.49	3.0	-		
4 空気質環境				4.0	0.25				4.0
4.1 発生源対策				5.0	0.50				
1 化学汚染物質		内部仕上げ材料はF☆☆☆☆適合品採用		5.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.0	0.30				
1 換気量				3.0	0.50	3.0	-		
2 自然換気性能				-	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20				
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50				
2 喫煙の制御				3.0	0.50				
Q2 サービス性能					0.30				3.6
1 機能性				4.0	0.40				4.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40				
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				4.9	0.30				
1 広さ感・景観				3.0	0.01	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				-	-				
3 内装計画		VIPラウンジなど照明計画と内装計画を一体的に行う		5.0	0.99				
1.3 維持管理				4.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い内部、外部の仕上げとする		5.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保		維持管理のために必要なスペース、機能を備えている		4.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30				3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法で定められた25%増の耐震性能を有する		4.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:SGP-VA,VB、排水:VP、給湯:SUS、消火:SGP		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.3	0.30				3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30				
1	階高のゆとり	階高平均高さ6,875mmとする	5.0	0.02				
2	空間の形状・自由さ	1Fスペースの動かせない壁の量を抑えた計画とする	4.0	0.98				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.2	0.40				
1	空調配管の更新性		3.0	0.20				
2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備設置のしやすいスペース、導線の確保	4.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)				0.30				4.1
1 生物環境の保全と創出		適切な緑化、灌水設備を設置。	4.0	0.30				4.0
2 まちなみ・景観への配慮		高さを抑え、沿道に緑の連続性を確保	5.0	0.40				5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.3
LR1 エネルギー				0.40				3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		屋根、外壁面に断熱吹付材使用、複層ガラスとする	5.0	0.20				5.0
2 自然エネルギー利用		太陽光発電設備の設置	4.0	0.10				4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.92	2.4	0.50				2.4
4 効率的運用			3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
集合住宅の評価			3.0					
4.1	モニタリング		3.0					
4.2	運用管理体制		3.0					
LR2 資源・マテリアル				0.30				3.6
1 水資源保護			3.8	0.20				3.8
1.1	節水	小便器を節水型とする	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無	トイレの洗浄に雨水利用を行う	4.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60				3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10				
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20				
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	リサイクル材を3種目以上使用	5.0	0.20				
2.5	持続可能な森林から産出された木材	ウッドマイレージCO2認定の京都府内産木材利用	5.0	0.10				
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20				3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料を4つ以上使用	5.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境				0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮		断熱性能の考慮、リサイクル材の利用	3.2	0.33				3.2
2 地域環境への配慮			3.1	0.33				3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	駐輪場、荷捌きスペース、駐車場を確保	5.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	0.33				
2	振動		3.0	0.33				
3	悪臭		3.0	0.33				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1	風害の抑制		3.0	0.70				
2	砂塵の抑制		3.0	-				
3	日照障害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			4.4	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害のシミュレーションにより外部への影響のない計画とする	5.0	0.70				
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				